

## 農業クラブ全国大会視察

秋田県教育委員会の事業である「キャリア教育充実事業におけるものづくり教育への支援」を活用し、本校農業科学科及び生活科学科の教職員が第70回日本学校農業クラブ全国大会南東北大会プロジェクト発表大会を視察しました。

- 1 期 日 令和元年 10 月 23 日（水）
- 2 会 場 宮城県名取市文化会館  
〒898-1223 宮城県柴田郡大河原町字上川原 7 の 2
- 3 日 程 プロジェクト発表
  - ・ I 類 生産・流通・経営 10:10～13:00 大ホール
  - ・ II 類 開発・保全・創造 10:10～13:00 中ホール
  - ・ III 類 ヒューマンサービス 13:10～16:00 大ホール
  - ・ 活動記録簿展 10:00～14:00 展示ギャラリー
- 4 参加者 農業科教員 1 名、家庭科教員 1 名

- プロジェクト発表＝生徒指導ということを実感させられるほど、発表の内容はもちろん、礼に始まり礼をもって終わるということを各学校で指導されており、休憩場とは全く違う生徒の姿が壇上で見られました。
- 発表者は趣向を凝らしたスライド発表と、発表後の質疑応答にもよどみなく答える姿は短時間でできるものではなく、普段の農業クラブ活動をとおして培ったもので、予選を勝ち上がってきた学校のレベルの高さを感じるものでした。
- スライドについては、白のシートに黒文字又は黒のシートに白文字での作成がほとんどで、見やすくかつ分かり易くまとめられていました。
- 10 分間という短い時間で「伝わる発表」という視点で考えれば、実践的な手法や評価の方法、スライドの視覚的な構成をできるだけシンプルに作り上げることが必要であると感じました。

新学習指導要領ではプロジェクト学習が重要な位置付けとなりました。プロジェクト学習をとおして農業学習を進めていくことが改めて大切であると感じた全国大会であり、学んだことを生徒に還元するためにも、もう一度授業の内容についても振り返りたいと思います。授業の中でどう生徒に取り組みませ、大会につなげるかを考えていきたいと思っています。

